

■080326 JTS研究成果発表会ディスカッション

家電リサイクル法見直し状況と課題 ～「共に創る」循環型社会に向けて～

崎田裕子

ジャーナリスト・環境カウンセラー

●図表は中央環境審議会・産業構造審議会の合同検討会
「家電リサイクル制度の評価・検討に関する報告書(平成20年2月)」より●

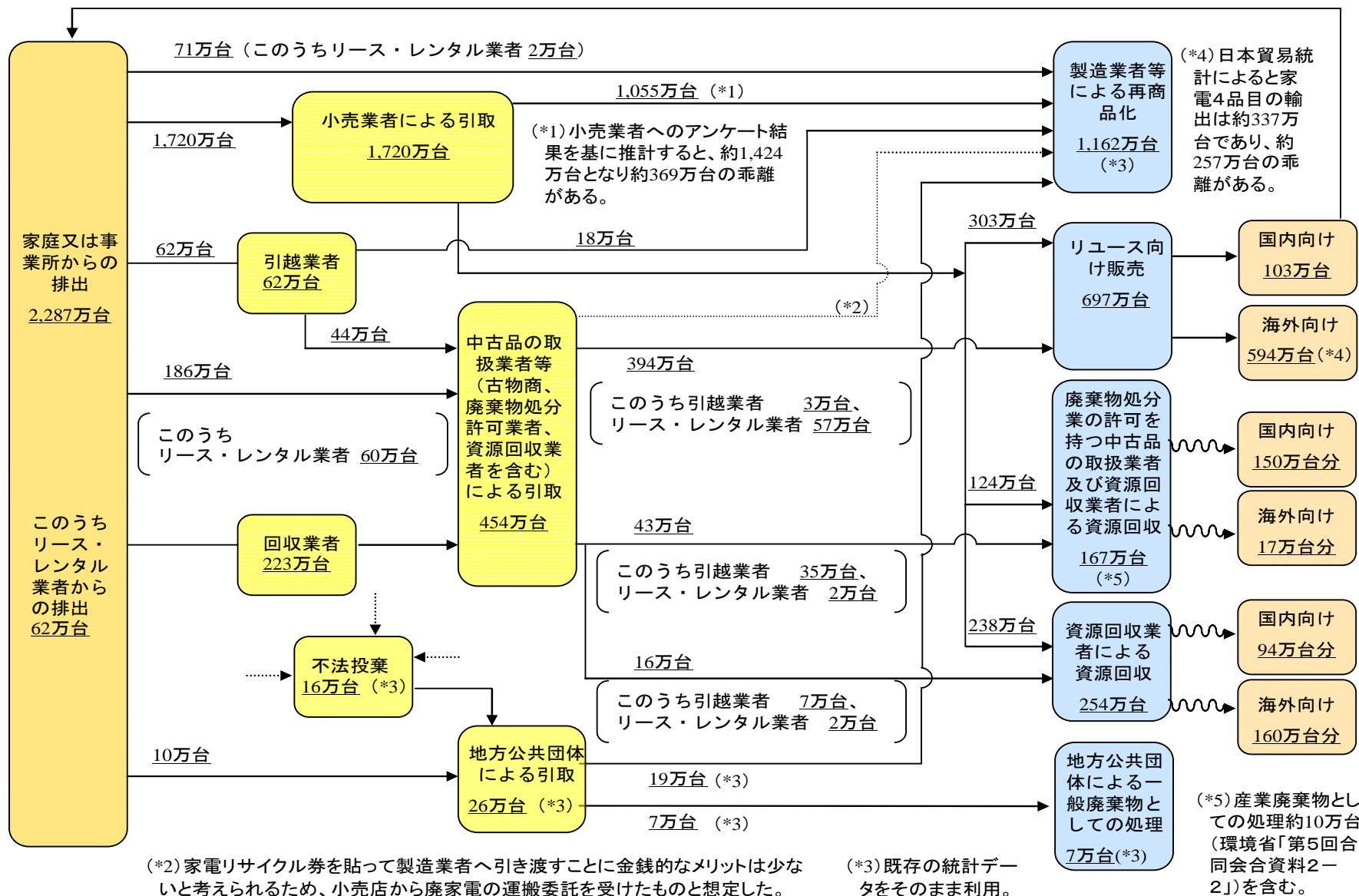
家電リサイクル制度の評価・検討

■ 2006・6～2007・12

産業構造審議会・中央環境審議会 合同会合
「家電リサイクル制度評価検討小委員会」

⇒ 2008・2 「家電リサイクル制度の施行状況の
評価・検討に関する報告書」

使用済み家電のフロー推計(4品目合計)



家電リサイクル制度の課題①

■見えないフローの見える化の重要性

【家庭・事業者からの年間排出台数 2,287万台】

家電リサイクルルートで再商品化 1,162万台

⇒その他は、国内・海外でリユース販売・資源回収

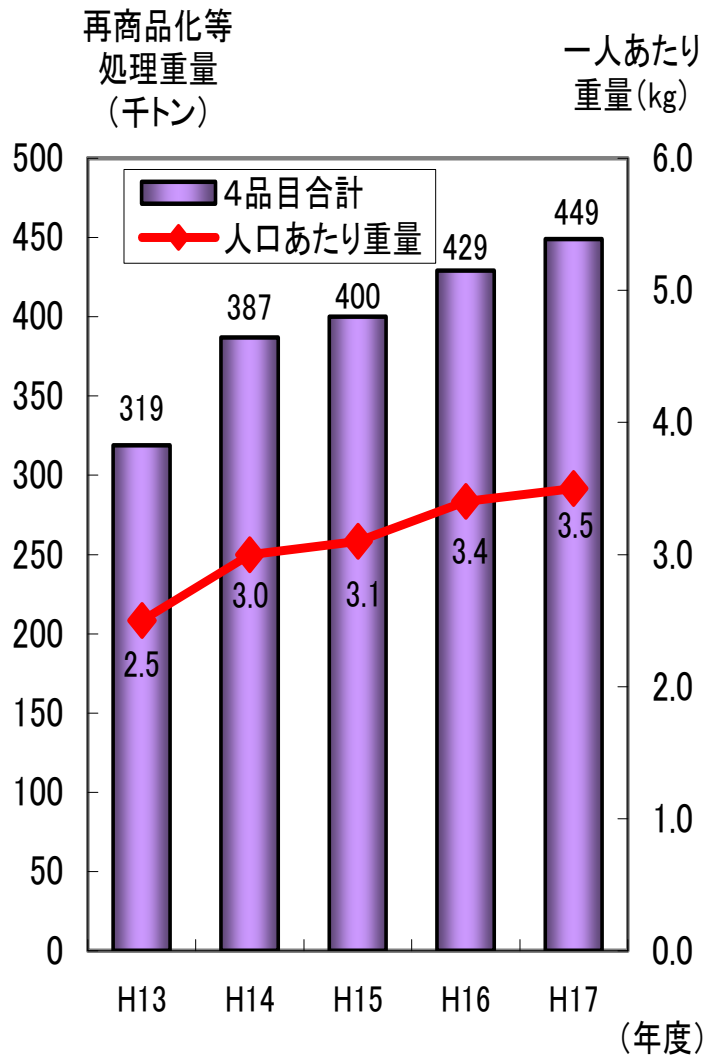
⇒見えないフロー……海外の環境汚染への危惧

■適正な3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進へ

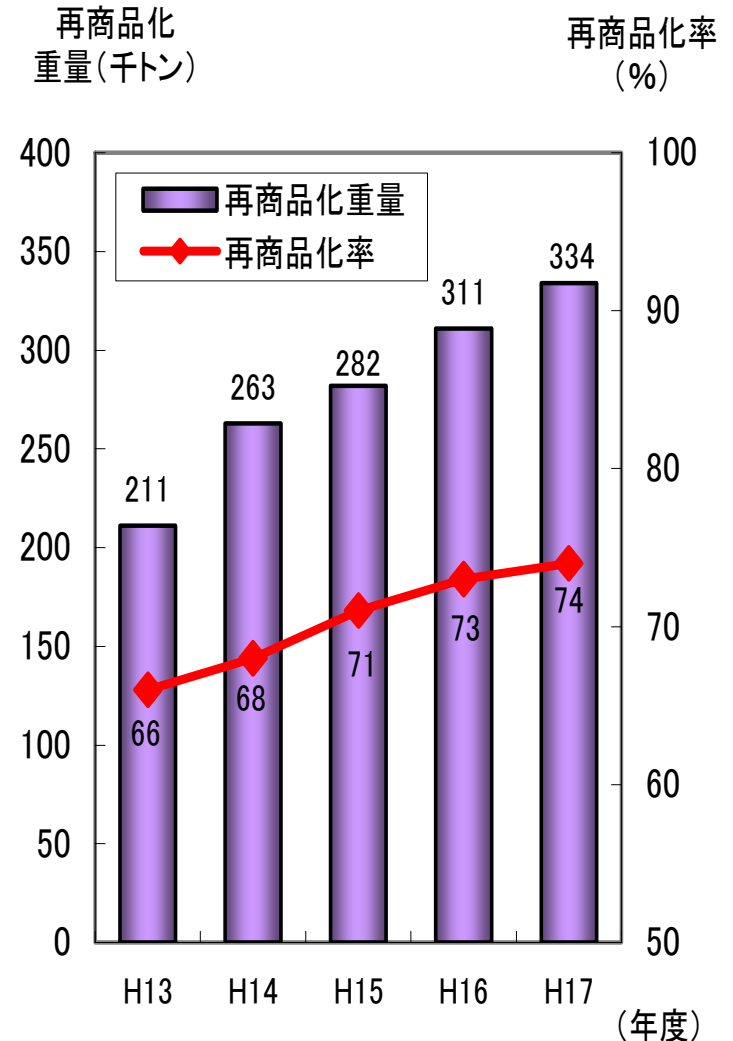
⇒今回はリサイクル費用の回収方式変更はせず、

3Rの信頼性を確保し、リサイクルの質を高める

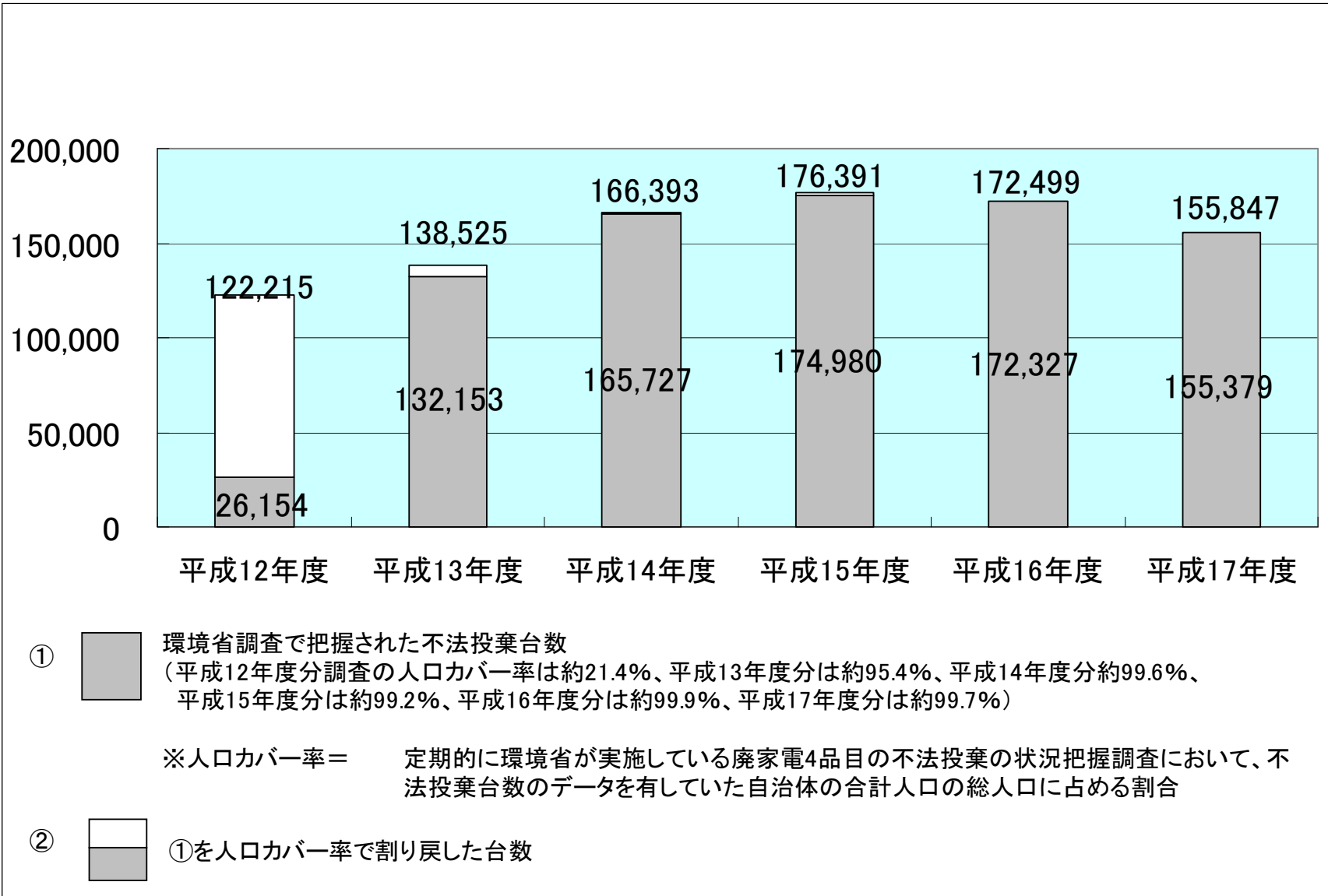
4品目の処理重量と 国民一人の処理重量



4品目の引取台数と 再商品化率



家電不法投棄台数の推移



家電リサイクル制度の課題②

■消費者が環をつなぐ、わかりやすい制度に

- ・リユース・リサイクルの排出基準の明確化
- ・収集運搬料金の小売店への適正な支払い
- ・メーカーの再商品化料金の透明化、低減化
- ・リサイクル券によるトレサビリティーの確保

■小売業者の円滑な引き渡し状況の把握・報告

■メーカーの情報公開と不法投棄対策への支援

「共に創る」連携協働の具体策

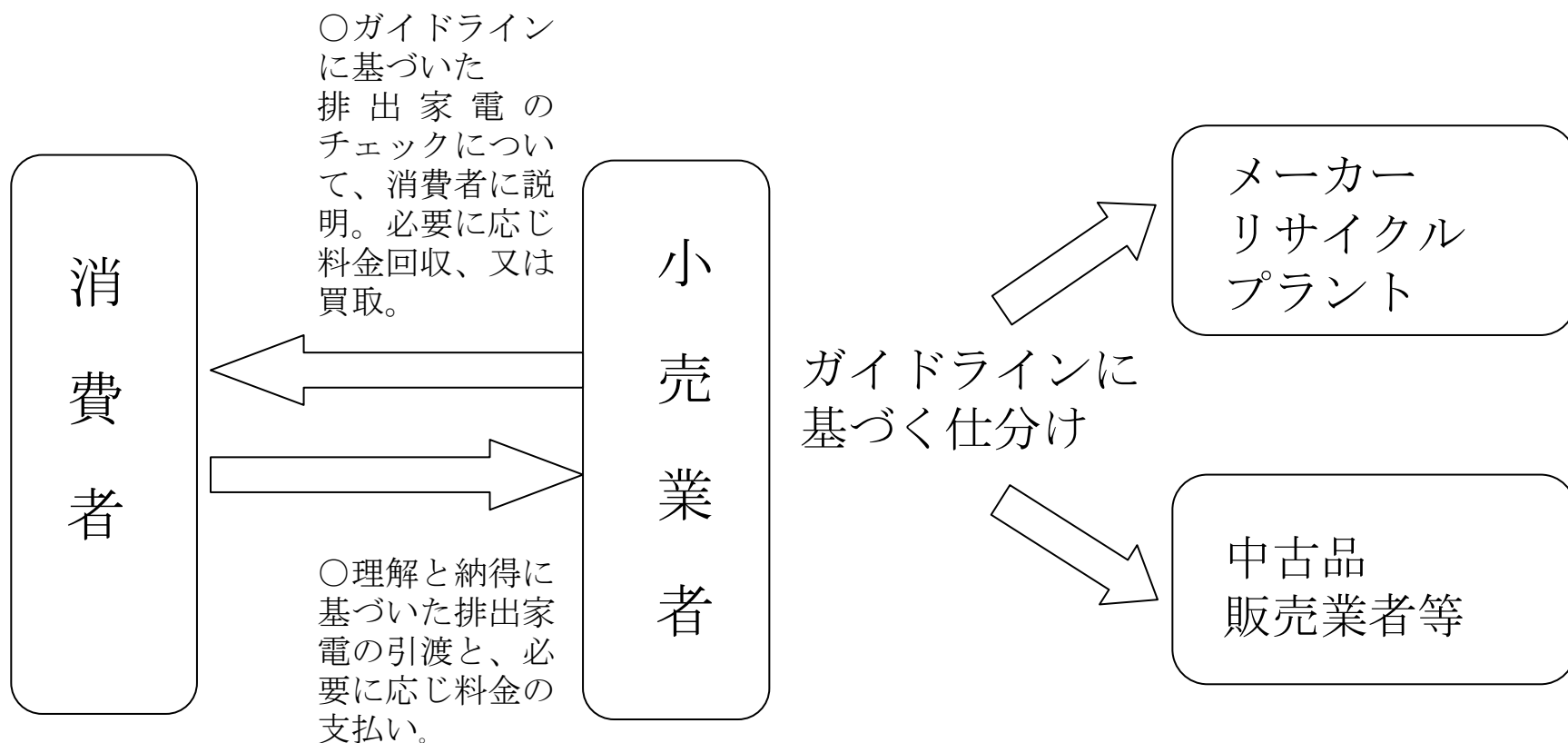
- 消費者、小売業者、中古販売・輸出業者
リサイクル・リユース仕分けガイドライン作成
⇒リユースの促進、適正な中古輸出
⇒リサイクルの徹底

■ 2008・3～

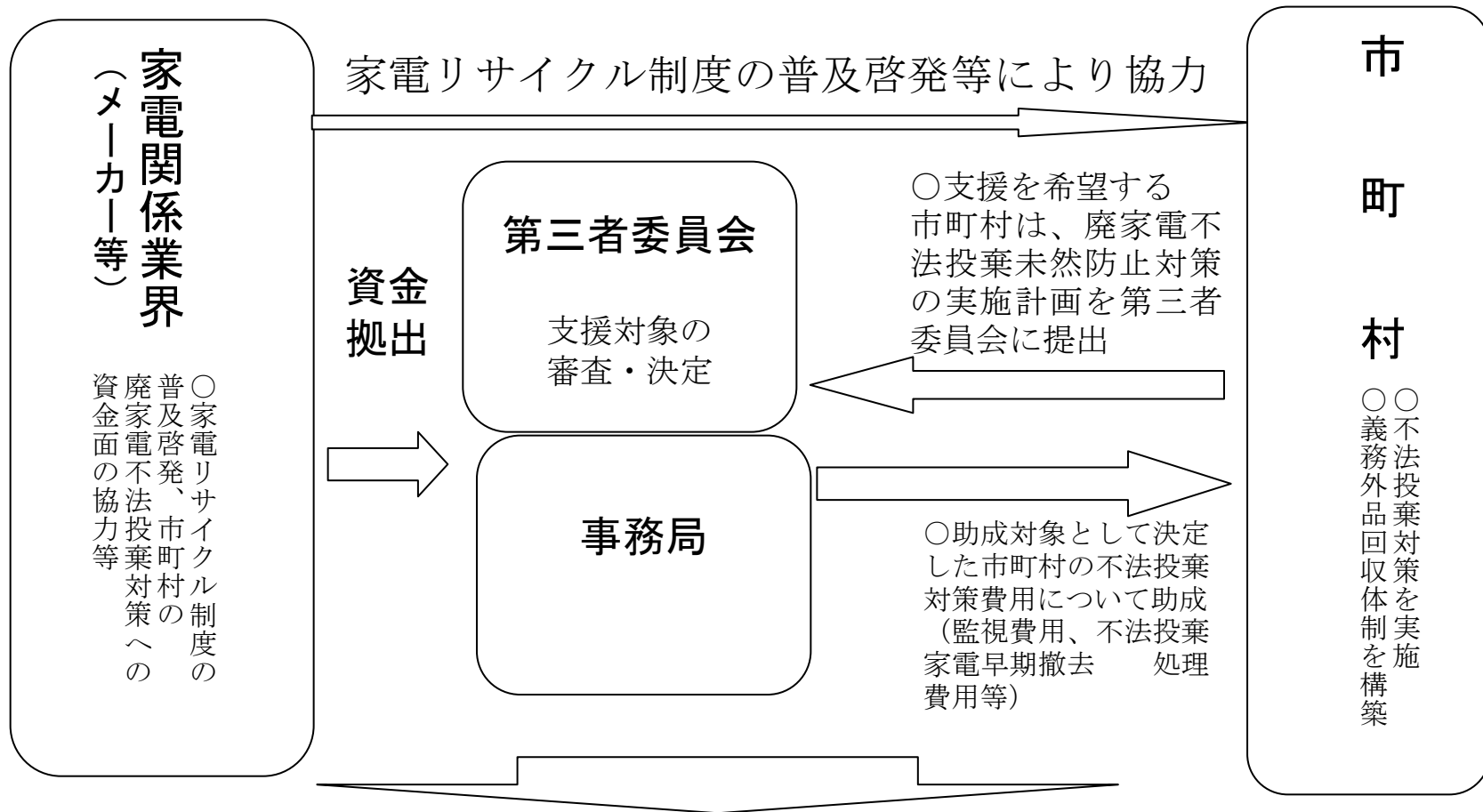
「家電リサイクル制度に関するリユース等
適正引取・引渡に関する専門委員会」

小売業者リサイクル・リユース 仕分けガイドラインの検討

リサイクル・リユース仕分けガイドライン活用のイメージ



廃家電不法投棄対策に関係者が協力して取り組む仕組み検討に向けて



廃家電の不法投棄を未然防止